

令和3年度

避難指示解除区域等の林業再生に向けた  
普及啓発事業

報告書

令和4年3月

林野庁



# 令和3年度 避難指示解除区域等の林業再生に向けた普及啓発事業 報告書

## 目次

1. 事業の目的	1
2. 実施内容	1
(1) パンフレットの作成	1
(2) シンポジウム、出前講座の開催・運営	1
3. 普及啓発パンフレットの作成	2
(1) パンフレットの作成	2
1) 記載内容の概要	2
2) 配付方法等	3
3) 企画・制作改善	3
4. シンポジウム、出前講座の開催・運営	5
(1) シンポジウムの開催・運営	5
1) 実施概要	5
①目的 ②開催日時及び配信場所 ③募集方法 ④教材の事前配布 ⑤ライブ配信アーカイブの掲載 ⑥プログラム ⑦動画コンテンツ一覧 ⑧Twitterを活用した情報発信	
2) 実施状況	12
①参加者数（実績） ②プログラム概要 ③質疑応答概要 ④記録写真	
3) 参加者アンケート集計結果	24
4) 参加者アンケート集計考察	35
5) 企画・運営改善	39
6) 小括	46
(2) 出前講座の開催・運営	50
1) 実施概要	50
①目的 ②対象団体との調整方法	
2) 実施状況	50
3) 受講生アンケート集計結果	52
4) 受講生アンケート集計考察	53
5) 企画・運営改善	54
6) 小括	55
5. 総括	57
参考資料	62
参考資料1 講師等・関係者名簿	62
参考資料2 アンケート様式	64

## 1. 事業の目的

東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の影響を受けた地域では、避難住民の帰還に向けて除染等が行われてきており、平成31年4月までに、帰還困難区域と一部の地域を除き、避難指示が解除されたところである。これらの地域は、森林が大半を占めており、地域の基幹産業の一つとして林業が営まれてきたが、事故後、森林の整備や林業生産活動が停滞していることから、地域の復興を進める上で、林業の再生を図る必要がある。

また、平成29年12月に復興庁が策定した「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」では、政府一体となって風評払拭に取り組むとともに、放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭を図るための工夫を凝らした情報発信を行うこととされており、本事業もこの戦略に位置づけされている。

本事業は、こうした情勢を踏まえ、福島における森林の現状に対する理解の深まりや、幅広い関係者の参画・連携の下で行われている福島の森林・林業の再生に向けた取組等の普及啓発を行うため、森林における放射性物質の調査・研究や林業再生に向けた取組等に関する最新の知見、成果を整理し、それらを分かりやすくかつ正確に地域住民や森林所有者、行政関係者及びマスコミ等に幅広く伝えるとともに、地域の復興加速化、風評の払拭等を図ることを目的とする。

## 2. 実施内容

森林・木材への放射性物質の影響や今後の見通し、林業再生をより進めるための放射性物質対策の成果、林業・木材産業・特用林産物生産を巡る動向や里山再生に向けた取組などについて、前年度の成果及び課題、それに対応した改善点等を踏まえた普及啓発を行う。

なお、依然として新型コロナウイルスによる感染のリスクが払拭できない中、イベント等の自粛の動きや大勢が集まる場所ではクラスター発生の懸念もあることから、出前講座は実施機会を厳選し、また、シンポジウムは昨年に引き続き会場での実施ではなくオンライン・ライブ配信及び動画コンテンツ配信とし、出前講座及びライブ配信の当日も対策を徹底した上で実施する。

### (1)パンフレットの作成

これまでの調査・研究等で明らかになった森林の放射性物質対策等の情報を、分かりやすく再構成・表現したパンフレットについて、過年度事業における疑問や要望を基に内容を再整理し、避難指示解除区域等の関係者等に配布する。

### (2)シンポジウム、出前講座の開催・運営

シンポジウム、出前講座の実施により林業関係者、地元住民、地域関係者、福島県内・県外の一般市民等への積極的かつ効果的な普及啓発を行う。「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」の考えに基づき、児童生徒、保護者等を主な対象者として設定し、対象者が「楽しめる」「興味を持てる」プログラム設計を心がける。

### 3. 普及啓発パンフレットの作成

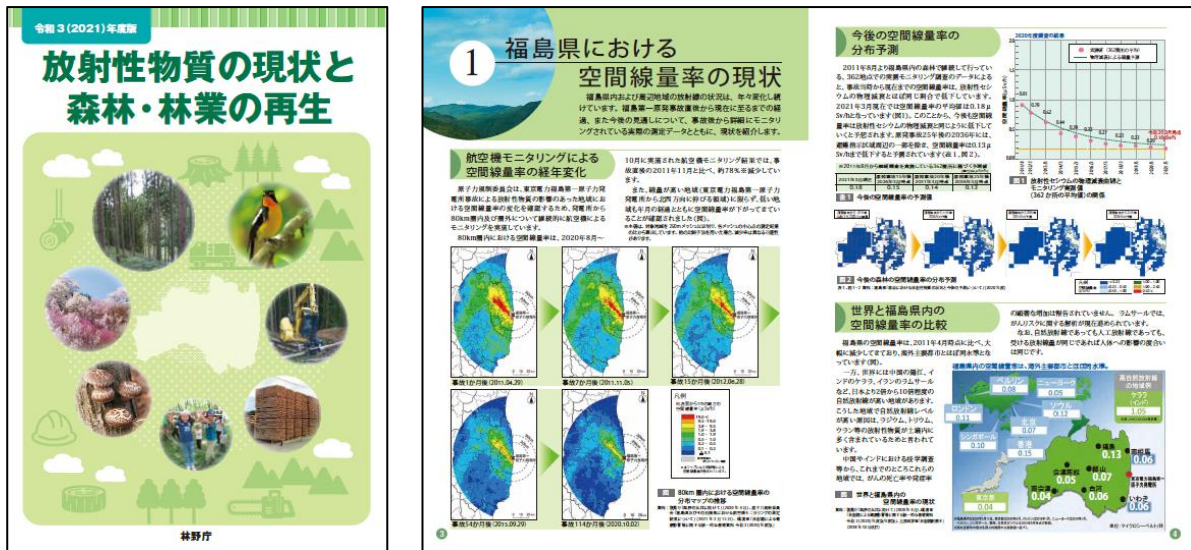
#### (1) パンフレットの作成

##### 1) 記載内容の概要

森林及び林産物に関わる放射性物質の現状、影響に関する調査・研究は、震災後、国・県を中心に継続的に取り組まれている。また、放射線量低減に向けた実証事業の成果、木材・特用林産物の放射性物質対策においてもその成果がまとめられている。

本パンフレットは、国や大学等の調査研究結果、主にプレスリリース等公表された情報、一定の評価が定まっている情報を抽出・整理し、体系的に、かつ平易な誤解の生じない表現で解説し、対象となる避難指示区域等関係者の理解を図るものである。

平成26～令和2年度の本事業で実施したシンポジウム、講習会、実証事業報告会、展示等において、参加者に行ったアンケート結果、要望等を基に、対象者がもっとも知りたいと感じている項目を洗い出し、これらを中心に構成した。



内容：

タイトル「放射線物質の現状と森林・林業の再生 令和3（2021）年度版」

目次（全20頁）

【避難指示区域の指定状況等】（2頁）

1章 福島県における空間線量率の現状（3～4頁）

航空機モニタリングによる空間線量率の経年変化

今後の空間線量率の分布予測

世界と福島県内の空間線量率の比較

2章 森林における放射性物質の動態（5～6頁）

森林生態系における放射性物質の動態

樹木の部位別放射性物質濃度の分布状況

渓流水や飲用沢水における放射性物質の影響

### 3章 森林施業による放射性物質への影響（7～8頁）

間伐等による空間線量率への影響とその効果

間伐等による土砂等及び放射性物質の移動量の把握

林内作業時の被ばく対策 [外部被ばく、内部被ばく]

### 4章 木材の利用推進に向けた安全対策（9～10頁）

安全な木材製品等を供給するための体制づくり

製材工場等に滞留する樹皮（バーク）の処理対策

木材で囲まれた居室を想定した場合の被ばく試算

### 5章 安全なきのこ等特用林産物の供給（11～12頁）

きのこ等特用林産物の出荷制限、解除の状況

きのこ・山菜の放射性物質のモニタリング

安全なきのこの出荷に向けた取組

きのこ原木の需給調整

### 6章 森林・林業の再生に向けた具体的な取組（13～15頁）

林業再生に向けた実証事業

森林整備とその実施に必要な放射性物質対策（ふくしま森林再生事業）

里山再生のための取組（里山再生事業）

しいたけ等原木林の再生対策

### 参考指標（16頁）

- ・データ1 様々な基準・指標
- ・データ2 作業安全ガイド

### 参考資料（17～18頁）

放射性物質の基礎資料

- ・放射線、放射能、放射性物質の違い
- ・放射性物質の半減期
- ・身の回りの放射線

[コラム] チェルノブイリ原子力発電所事故から得られている主な知見

## 2) 配布方法等

7,000部作成し、福島県、福島県出先事務所、福島県内の全市町村、森林組合、森林管理局・署のほか、林業関係団体など約120の機関・団体へ配布した。また、林野庁及び福島県のウェブサイトにおいて掲載した。

## 3) 企画・制作改善

制作に関わった関係者の意見等を踏まえ、成果、改善点を取りまとめた。

## 成 果

- ・福島県等の一般市民等を対象に、森林における放射性物質の影響等について、分かりやすく正確な情報を提供することを目的に、知見や研究成果を情報収集し、パンフレットを作成した。
- ・福島県、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所の編集協力のもとパンフレットを作成した。
- ・正確な情報を伝えるために、「行政機関、研究機関等（国内外）から公表された情報を専ら扱う」「根拠資料に基づく正確な記述を心がけ、対象者の誤解を招く表現を避ける」ことを編集方針とした。
- ・過年度より掲載されている項目については、図表等を最新データへの更新を行った。
- ・前回制作のパンフレットに掲載されていた「スギ花粉の放射性物質」は、掲載しないこととした。その理由は、放射性セシウムを含むスギ花粉を人が吸引することで受ける放射線量の試算値（2019年度）が、福島第一原子力発電所の事故直後の数値の5%程度となっており、住民が吸入して内部被ばくを引き起こす懸念が関心事とならなくなったためである。
- ・2021年度より国と福島県等の関係者が連携してスタートした、計画的なシイタケ等原木林の再生に向けた取組「里山・広葉樹林再生プロジェクト」を新たに掲載した。
- ・当初配布予定部数を5,000部としたが、配布予定先からの要望等を踏まえ、部数を7,000部とし、より広く対象者の手元に届けることができた。

問題点	改善方法案
一部校正の修正漏れのため手戻りが生じた。	パンフレット編集の各工程で複数の職員で確認作業を行ったが、今後は校正の専門家にも確認作業を依頼する等のチェック体制を整える。なお、やりとりの効率化のため、原稿を電子媒体（ワード形式）により電子データ化して編集作業を実施することを検討する。

## 4. シンポジウム、出前講座の開催・運営

### (1) シンポジウムの開催・運営

#### 「福島の森と木の親子体験オンライン教室 2021」

##### 1) 実施概要

###### ① 目的

児童生徒（小学校中学年以上）とその保護者を主な対象者として実施する。放射性物質の現状、挙動予測についての分かりやすい解説に加え、キノコ収穫体験と木工体験等を通して木や林産物に親しみながら福島の森林の現状・放射性物質等について親子が楽しく学習できる内容とする。

これにより、次世代を担う若年層（子ども及びその保護者）が、福島の森・木・林産物の魅力や現状を知って、共感することで、福島県の森林・林業再生に貢献する何らかの行動に繋がることを目指す。

###### ② 開催日時及び配信場所

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場での実施ではなくオンライン・ライブ配信及び事前・事後の動画コンテンツ配信にてシンポジウムを実施した。

日時：令和3年11月13日（土）14:00～15:45

配信場所：南中野区民活動センター 多目的室（東京都中野区弥生町5丁目5番2号）

###### ③ 募集方法

募集定員は親子500組（先着順）とし、ポスター及びチラシを作成し、福島県出先事務所、福島県内の全市町村、森林組合、森林・林業関係団体、森林管理署に加え、東京都内の森林・林業関係団体等、約200か所に配布・周知した。さらに、郡山市及び中野区の協力を得て、郡山市と中野区内の全小学校72校の3～6年生にチラシを配布・周知した。また、インターネット上（林野庁 Facebook、全林協 Facebook 及び Twitter）で告知を行った。申し込みはインターネット、電話、郵送及びFAXで受け付けた。



ポスター・チラシ



全国林業改良普及協会ウェブサイトでの告知（部分表示）



#### ④教材の事前配付

プログラム内で実施する木工及びキノコ収穫体験のために、事前にシンポジウム参加者に端材キットとナメコ菌床を送付した。

項目	端材キット	ナメコ菌床
品名	①端材 ②木の輪切り	ナメコ栽培キット
購入先	①いわきウッド・フォレストプロモーションズ（いわき市） ②田人林業研究会（いわき市）	有限会社加茂農産（いわき市）
発送作業 資材準備等 協力	①いわきウッド・フォレストプロモーションズ cocochi／(株)榎戸材木店（東京都江東区） ②田人林業研究会	有限会社加茂農産

#### ⑤ライブ配信アーカイブの掲載

シンポジウム実施後、農林水産省公式 YouTube「maffchannel」内の再生リスト『福島のもり応援隊動画』にアーカイブ動画を掲載した。



「福島のもり応援隊動画」福島のもり応援隊動画 No.18  
348 回視聴・2021/12/14

チャンネル登録

【福島のもり応援隊動画】No.18  
林野庁では、令和3年11月13日（土）に、「福島のもり応援隊動画」として、自宅等から親子と一緒に学べる『福島のもり応援隊動画2021』を開催いたしました。  
ライブ配信は参加者限定公開でしたが、どなたでもご覧いただけるよう当日のアーカイブを公開しています。

主催：林野庁 後援：福島県、郡山市、東京都中野区

【福島のもり応援隊動画】福島のもり応援隊動画 No.18

1 (ダイジェスト) 2020年度「福島のもり応援隊動画」  
1:39

2 「福島のもり応援隊動画」  
1:53:02

3 「端材であそぼう！～端材デザイナー編～」【福島のもり応援隊動画】  
12:21

4 「福島のもり応援隊動画」  
4:35

5 「放射線ってどんなもの？」【福島のもり応援隊動画】  
22:20

特定技能：飲食料品製造業分野の制度説明について  
358 回視聴・4 日前 新着

特定技能：外食業分野の制度説明について  
149 回視聴・4 日前 新着

農林水産省公式 YouTube「maffchannel」での  
アーカイブ掲載（部分表示）

⑥プログラム

令和3年度 避難指示解除区域等の林業再生に向けた普及啓発事業  
**福島の森と木の親子体験オンライン教室2021**

ライブ配信日：11/13(土)

ライブ配信場所：南中野区民活動センター(東京都中野区弥生町5丁目5番2号)



対象者：小学校中学年以上の親子(500組1000名)

シンポジウム当日(14:00~15:45) ※参加者限定配信		14:27	14:52	15:07	15:12	15:29	15:45	
時間	3分	64分						
(内訳)	0:03	0:20	0:04	0:20	0:05	0:10	0:05	
プログラム	①挨拶 (林野庁) ②PR動画 【福島の森と、森の恵みを守りたい】 (司会：2020ミス日本みどりの中の女神井戸川百花氏)	【福島の森のハカセになろう】② ・森林内、木材の放射線物質の動態(講師：篠宮佳樹氏／森林総研)	質問コーナー (講師：北実氏／鳥取大学)	【福島の森のハカセになろう】① ・東日本大震災について ・放射性物質の基礎知識(講師：北実氏／鳥取大学)	質問コーナー (講師：篠宮佳樹氏／森林総研)	【福島の森のハカセになろう】③ ・キノコの放射性物質の動態(講師：小松雅史氏／森林総研)	質問コーナー (講師：小松雅史氏／森林総研)	休憩、時間調整の予備時間
	【森と木に親しもう】 ・樹種クイズ、木の特徴等の説明 ・(動画)触りだけ！端材であそぼう ・(動画)触りだけ！福島県内で森林と親しめる施設 (講師：緑川平隆氏、下條真輝氏／田人林業研究会)	質問コーナー (講師：緑川平隆氏、下條真輝氏／田人林業研究会)	【森のめぐみ なめこ収穫】 ・(動画)生産現場等の紹介 ・収穫体験(講師：小松雅史氏／森林総研)	〇締め(事後の配信動画案内) ・アンケートの案内	「端材であそぼう！」 一端材デザイナー「一」	【ナメコ栽培キット2回目からの育て方】 (出演：鈴木清美氏／(有)鈴木農園・郡山五)	関連動画 (シンポジウム後公開)	12分 3:50
							3分 0:03	4分 3:50

## ⑦動画コンテンツ一覧

農林水産省公式YouTube「maffchannel」内に再生リスト『福島のもり応援隊』を作成し、動画を公開した。

木工キット制作の手順、ナメコ栽培キットの栽培方法等、ライブ配信に関連した動画のほか、大工による端材を使った木工クラフト、田人林業研究会の活動現場潜入やインタビュー、福島県産木製品の紹介等、福島県の林業・林産物をアピールする動画を制作した。またライブ配信のアーカイブも公開し、当日の参加者以外にも視聴可能とした。

ダイジェスト 2020年度「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信前	 

福島の木で、暮らしにいろどりを	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	 

福島の森と木の親子体験オンライン教室 2021	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	   



端材であそぼう！－端材デザイナー編－

配信タイミング	動画キャプチャ	
ライブ配信後		

端材であそぼう！－大工編①－

配信タイミング	動画キャプチャ	
ライブ配信後		

端材であそぼう！－大工編②－

配信タイミング	動画キャプチャ	
ライブ配信後		

端材であそぼう！－番外編①－

配信タイミング	動画キャプチャ	
ライブ配信後		

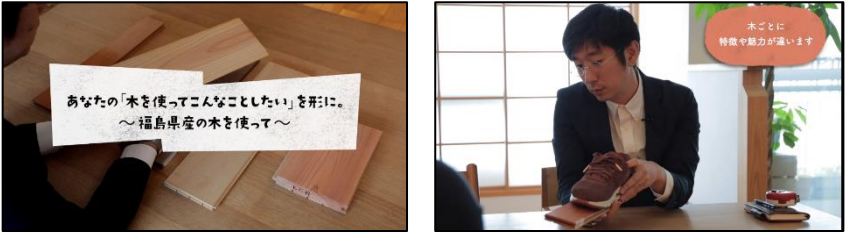
福島森 現場人インタビュー－田人林業研究会編－

配信タイミング	動画キャプチャ	
ライブ配信後		

福島の森 林業研究会の活動へ潜入！—田人林業研究会編—	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	

福島の森 現場人カタリバ —林業研究グループ 先輩×若手—	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	

福島県産材 木製品ハンターの旅①	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	

あなたの「木を使ってこんなことしたい」を形に。～福島県産の木を使って～	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信後	

### ⑧Twitter を活用した情報発信

シンポジウムの一連のプログラムでは、木工体験とキノコ収穫体験を行ったが、参加者がシンポジウムのオンライン配信当日までに参加意欲を高められるように、事務局が育てているナメコ栽培キットの生育状況や、端材クラフトの作品例等を事務局 Twitter にて随時更新した。ライブ配信参加者が事前に育てているナメコについて質問等も受け付けフォローアップするとともに、参加者が育てたナメコの様子を共有するなどした。





▲事務局アカウント



▲参加者からナメコの栽培状況の投稿



▲参加者からのナメコ栽培に関する質問に回答



▲端材クラフト作品例の投稿